

平成30年2月

水無みようこよみ

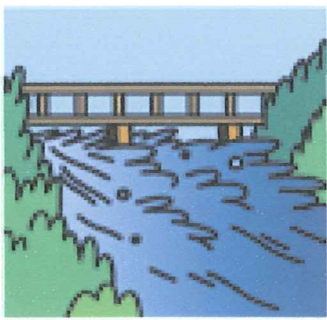
今年もあの日がやってくる・・・防災を考える

今年も東日本大震災から七年目の日がやってくる。大きな災害が繰り返されるたびに注目されてきた地域の防災力。お互いに顔が見える範囲のコミュニティの強い絆が災害時のいざというときのいのち綱となる可能性が指摘される。

地道な防災訓練の積み重ねや防災備品も求められるが不可欠なのは本来、人間が持つ素朴な「助け合い」の気持ちであろう。



東地区地域づくり協議会
責任者 佐藤 成孝
第 43号



昨年の水害写真



2月・3月のこよみ

2/23 第3回ホワイトカーニバル実行委員会

サイクリングターミナル

3/5 ホワイトカーニバル

八海山麓スキー場

3/11 結いの灯り

東地域開発センター



東地域づくり協議会女性部主催

結いの灯り

東日本大震災から、まもなく七年目となります。今年も東地区地域づくり協議会では結いの灯りに取り組みます（三月十一日）。

当日はトン汁等を用意して地区の皆さんのお越しをお待ちしています。幻想的で厳かな雪灯りを見に来てください。地域内、各集落のみなさんからも今年も取り組みをお願いします。役員の方には準備がありますので午後二時に集合願います。小学生の皆さんもお手伝いにごきてみてください。待っています。

★ 三月十一日（日）

午後五時～

★ 東地域開発センター前

★ 雪灯籠 ほか



自分ができることは限られる。でもできること
がないわけではありません。「ちりも積もれば山と
なる」、ひとり一人の小さな力が大きな力になるこ
とを信じて、寄り添う心を持ち続けたい。私たち
はつながる安心・安全のためにできることに取り
組んでいかなければならない。

高齢化が急激に進むこの地域においてもコミュ
ニティの維持や形成の課題をどうしていくか考え
ていかなければならない。コミュニティ力の向上、
地域住民がゆるやかに支え合うよ
うな状況づくりが求めら
れている。これも協議会の
使命の一つかもしれない。



編集後記く都会の人は
雪が美しいという。と
きとしてその雪は白魔
と化す。雪国の人はそ
れをイヤというほどし
っている。一晩で一メ
ートルも降ることがあ
る。今回も激しい積雪
に県内は襲われた。も
う少しです。春がくる
まで

